

2009年4月15日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月15日】

団体名 朗読奉仕の会 玉さしの

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

デジタル化に備え ノートパソコンを購入する。

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

①音読に適しているといわれるカセットデッキ SONY TC-RX 2000Tの製造中止。②カセットテープの品質低下。③日本点字図書館がテープ録音図書からデジ録音図書に変更。④デジタル録音再成機が、日常生活用具給付制度対象品に認可。以上の事からデジ録音図書が主流になつてきます。私達の活動もデジタル録音図書作成に対応していく必要がでてきました。Plectalk Recording Software (旧名 PRS)を使ってデジタル録音図書を編集作成するには パソコンが必要です。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- ・PRSを使用するため XP対応のパソコンを購入。
- ・DAISY TOKYO作成「はじめのDAISY PRS版」をテキストに勉強会と実習を何回も開催。
- ・2008年12月1日号の市報から、テープ版声の市報に加え、デジ版声の市報も作り、希望者に郵送。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ・「デジ録音再成機器説明会」に出席したり、利用者の声をききながら編集の仕方を改善。
- ・デジ版声の広報を作成している音読グループを見学して作業のすめ方を研究。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

- はじめのうち、パソコンにCDを感知したり、しなかつたりという不具合があり作業がはかどらず、前途多難でした。修理に出し部品交換をしてから、ようやくスムーズに出来るようになりホッとしました。
- 新しい機械に取り組みのちゅうちょする利用者が多いのですが、一度デジタル録音図書に出会うとその便利さ、音の明瞭さに感激して積極的にになります。利用者を増やすことも課題のひとつです。又、検索がやりやすいように工夫すること、市報以外の広報(議会だより、職場だよりなど)もデジタル化していくことも重要と思います。
- テープ録音図書とデジ録音図書を短期間に同時に作っていく方法を模索しています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり (特になし)